

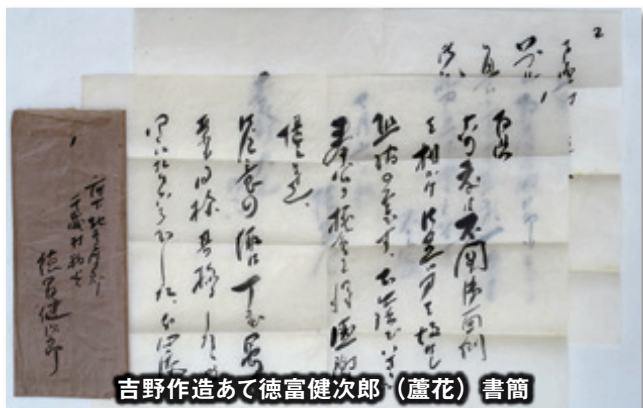
# 吉野作造記念館だより

第31号

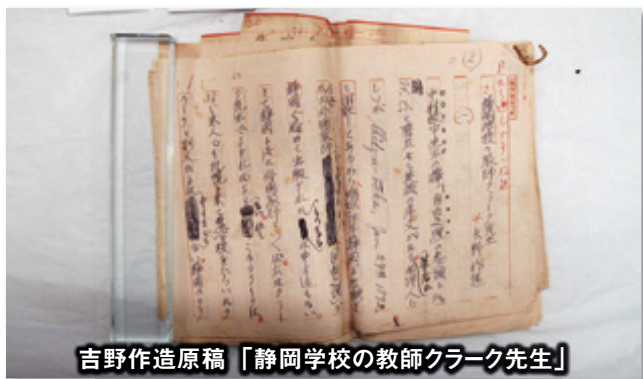
2022年4月

〜

2023年3月



吉野作造あて徳富健次郎（蘆花）書簡



吉野作造原稿「静岡学校の教師クラーク先生」



中国の革命家・黄興の書

## 吉野家旧蔵の新資料が寄贈されました。

吉野作造三女光子氏の夫小松清氏旧蔵の明治文化研究会関係資料、吉野作造長男吉野俊造氏旧蔵の遺稿、書幅などで、2022年7月、俊造氏ご長女で吉野作造令孫の上田雪子氏よりご寄贈いただきました。

いあいさし

吉野作造記念館 館長 氏家 仁

吉野作造記念館開館から28年となりました。昨年度は引き続きコロナウイルス感染対策を行いつつ、講座・講演会などの事業については対面形式へと徐々に戻していきました。依然としてご不便をおかけしつつも、毎回大変なご盛況をいただき、職員一同大いに励まされました。皆様のご理解とご協力に深く御礼申し上げます。

この1年、吉野作造の学校教育での活用を一段と進めるべく取り組んでまいりました。以前より実施していた吉野作造パネル展は、大崎市立の全小・中学校を巡回しました。並行して、未来の主権者を育てる絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』の原画展・パネル展、読み聞かせ会を市内および県内各地で開催し、普及に努めています。また、吉野作造の母校でもある大崎市立古川第一小学校ではこの3月、絵本を題材とした道徳の授業も行われました。今後とも、各校さまざまな形で活用を期待したいところです。

市民参加型の新たな取り組みとして、市民の皆様と当館が協力して地域史料を読解・調査するという「市民学芸員」企画を開始しました。第1回は大崎市指定文化財である「加藤家文書」の資料翻刻や解説の執筆を行って頂き、後期企画展「我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」で展示しました。地域の歴史と住民をつなぎ継承していくため、市民学芸員という新たな試みには、私たちとしても非常に大きな手ごたえを感じた次第です。

資料の収集については、吉野作造ご令孫の上田雪子氏より、新たに吉野作造および関係者の遺稿・遺墨・書簡など多数の貴重な資料をご寄贈頂きました。今後の研究活動に新たな光を当てるのが期待されます。上田氏にはこの場を借りて心より御礼申し上げます。

当館を支えてくださる大崎市民、友の会ははじめ多くの皆様、その力の大きさをさまざまな意味で再確認した1年でした。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

# トピックス (2022年4月～9月)

5月28日

## NPO法人古川学人 創立20周年記念式典

2022年5月で設立から20年を迎えた吉野作造記念館指定管理者・NPO法人古川学人。記念式典には、来賓として吉野作造ご令孫の上田雪子氏、大崎市の伊藤康志市長、熊野充利教育長、関武徳市議会議長をはじめとする多くの方にご出席いただきました。また、これまでの歩みを映像で振り返ったほか、大崎市内の高校生を交えたシンポジウム「おおさきの輝く未来～まちづくりは君たちの手で～」が行われました。



こどもの日ちいさなイベント (5月5日)



憲法記念日講演会 (5月3日)  
講師：佐々木弘通氏 (東北大学教授)



基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」(計10回)  
氏家館長による通年開催の講座。



学芸体験講座「資料読解～吉野作造の手紙を読んでみよう～」  
(5月22日・6月19日)



## トピックス (2022年10月～2023年3月)

80年代日本のバブル経済は必然的な現象であったとする立場から、バブルを発生させた日本経済の構造や、当時の金融政策の問題、現代まで続く課題についてお話しいただきました。

11月12日  
読売・吉野作造賞受賞者講演会  
**80年代のバブルは偶然だったのか、必然だったのか**  
講師・櫻川昌哉氏  
(慶應義塾大学教授)



クリスマス会 (12月11日)



国際啄木学会 2022年度 秋の大会 (10月16日)



歴史講座「戦争と地域社会」(3月12日・26日)  
講師：後藤彰信氏



吉野作造生誕記念イベント (1月29日)

### 吉野作造記念館友の会のご案内

吉野作造記念館友の会は、記念館を通して会員同士の親睦を図りつつ、地域の芸術・文化・歴史を学ぶことを目的とする会です。展示観覧、講演会などへの参加が無料になるほか、会員限定のさまざまな特典があります。

詳しくは記念館までお問い合わせください。  
年会費：3,000円 (家族会員割引もあります)



友の会バスツアー (11月23日)  
震災遺構・仙台市立荒浜小学校を見学。

# 企画展&関連イベント

7月24日～9月25日  
前期企画展

## 吉野作造と宮城県尋常中学校の仲間たち

協力：一関市博物館 宮城県仙台第一高等学校  
宮城県仙台第一高等学校同窓会  
後援：大崎市 大崎市教育委員会



吉野作造と同級生たちが大槻文彦たち恩師を  
囲む会を開いた際の寄せ書き。



宮城県尋常中学校時代の吉野作造を、恩師や  
同級生との関係からみる展示。



記念講演会「中学生吉野作造と大槻文彦校長」  
講師：後藤齊氏（東北大学名誉教授）

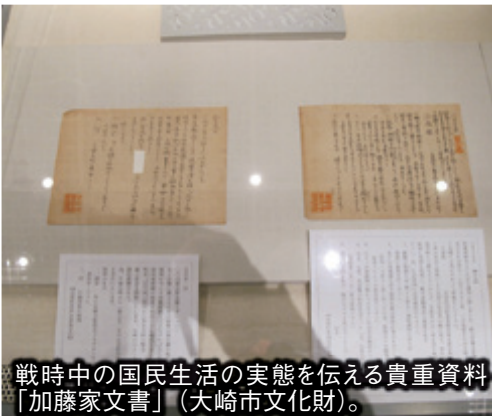


大槻家と宮城県の教育、吉野たち生徒への影  
響を資料でたどりました。

1月29日～3月26日  
後期企画展

## 我が町おおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）

後援：大崎市 大崎市教育委員会



戦時中の国民生活の実態を伝える貴重資料  
「加藤家文書」（大崎市文化財）。



戦争をキーワードに、文書を中心とした資料で  
大崎の近代史をたどる展示。



記念講演「大崎市内小学校の資料調査から」  
講師：大平聡氏（宮城学院女子大学教授）



市民ボランティアを募集し、資料読解や展示づく  
りに協力していただきました。



NPO 法人古川学人「3つの作造くつくる」 **人づくり** —主権者教育—

**高等学校向け特別授業・出前講座**

吉野作造記念館では県内の高等学校などと協力し、選挙権拡大の歴史や、政治に参加することの意義を学ぶ主権者教育を行っています。2022年度は泉館山高校、古川学園高校、仙台第三高校の3校で授業を行いました。



仙台第三高等学校2年生 (3月20日)



泉館山高等学校2年生 (12月16日)



古川学園高等学校3年生 (12月13・14・23日)



**高校生選挙啓発活動**

**サポート事業**

主催：宮城県選挙管理委員会  
事業実施委託受注者…

NPO 法人古川学人

宮城県における選挙の投票率が、特に10代・20代で低い状況を鑑み、2022年実施の参議院選挙に対する啓発の取組を主体的に企画・実践することにより、投票率向上と主権者教育の推進を目指す事業です。大崎市5高校（大崎中央高校、古川高校、古川学園高校、古川工業高校、古川黎明高校）27名の生徒が、5回のワークショップを通して、選挙の課題と投票率向上について考えました。

8月の最終報告会では、各校の選挙啓発の取り組みが報告されました。オリジナルポスターや啓発看板の作成、プリント配布など、各校それぞれの問題意識に基づいた工夫が見られました。

参加した5高校の生徒の投票率は55・3%（全国の18歳投票率プラス16・63ポイント）となりました。



最終報告会 (8月7日)



第2回ワークショップ (5月13日)



# ケロッキーブーと おおきなあな

で学ぶ選挙と政治参加 〈人づくり—主権者教育—〉

古川学人では、親子で選挙と政治参加を学べる絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』を活用し、さまざまな取り組みを行っています。



投票体験 (クリスマス会)



パネル展 (敷玉小学校)



読み聞かせ (カムカムひろば)



パネル展 (あ・ら・伊達な道の駅)



## ◆読み聞かせ&投票体験

- 5月5日 吉野作造記念館ちいさなイベント
- 6月・10月・2月 醸室で体験&体感の日 カムカムひろば
- 11月5日 ピースアクション2022 INみやぎ 絵本キャラバン
- 12月11日 吉野作造記念館クリスマス会

## ◆絵本パネル展・原画展

- 9月1日～10月12日 あ・ら・伊達な道の駅(パネル展)
- 11月3日～24日 大崎市地域交流センターあすも(パネル展)
- 11月25日～12月18日 玉造荘(パネル展)
- 12月11日～25日 吉野作造記念館(原画展)
- 9月～ 大崎市内小学校巡回展(パネル展)

## ◆講演

- 8月26日 古川ロータリークラブゲストスピーチ「絵本で学ぶ民主主義」

絵 菅原 暢子 作 特定非営利活動法人古川学人 (吉野作造記念館指定管理者)  
 制作・発行 特定非営利活動法人古川学人 制作協力 東北大学出版会  
 2021年7月31日 初版第1刷発行 頒価 1,800円 (税別)

この絵本は、READYFOR 株式会社を通じたクラウドファンディングにより、未来の有権者を育てる活動にご賛同頂いた多くの皆様のご支援を受けて制作しています。

**吉野作造記念館、またはお近くの書店にてお求めください。**

販売店は吉野作造記念館ウェブサイト内特設ページでご案内しています。  
 右のコードよりお進みください。





# ● NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 未来づくり 一次世代育成 ●

11月5日～12月4日

## おおさき芸術コンクール チャリティ展覧会

(宮城県共同募委会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業)

主催：NPO法人古川学人

「おおさき芸術コンクール」は、大崎市の小・中・高校、支援学校のみなさんの作品でチャリティ展覧会を開催し、新型コロナウイルス対策費用として寄附するという企画です。



写真の部 最優秀賞(小学生)  
「家族とお散歩」  
松江緋那さん(岩出山小6年)



絵画の部 最優秀賞(小学生)  
「吉野作造記念館で花火を見たよ」  
前田隼輝さん(古川二小1年)



写真の部 優秀賞(中学生)  
「ひまわりが咲いた!」  
鈴木比奈子さん(古川黎明中3年)



絵画の部 優秀賞(小学生)  
「ぼくの小学校」  
菅原康介さん(数玉小6年)



絵画の部 優秀賞(中学生)  
「ふるさと」  
照井穂乃花さん(古川黎明中3年)

絵画の部 優秀賞(中学生)  
「おおさきパルティンフェスティバル」  
菊池音寧さん(古川黎明中2年)



絵画の部 (小学生)

佳作  
「みんなが大好きな  
じいちゃんのお米」  
伊藤心春さん(古川五小1年)  
「ねぐらに帰ってくるまがん」  
藤崎比菜さん(沼部小5年)  
「夏休みの思い出」  
加川碧唯さん(古川二小5年)

絵画の部 (中学生)

佳作  
「めぐる」  
清野佳蓮さん(古川東中3年)



絵画の部 理事長賞 「夜空」  
佐藤優智さん(古川支援学校中学部3年)

# ● NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 未来づくり 一次世代育成 ●

## 第2回 おおさき作文コンクール

(宮城県共同募入金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業)

主催：NPO法人古川学人

① 私たちが暮らす地域の未来について考えたもの、② 私たちが暮らす地域の歴史や文化について考えたものをテーマに作文を募集。

第2回は大崎市内の小学5～6年生・中学生から、計90作品の応募を頂きました。



表彰式 (12月4日)

### ○中学生の部

#### 最優秀賞

「魅力と活気あふれるまちへ」

中鉢電さん(岩出山中3年)

#### 優秀賞

「私たちが暮らす地域の未来」

赤間沙羽さん(岩出山中2年)

「伝統・歴史を伝える」

横田くるみさん(古川黎明中3年)

#### 奨励賞

「未来の大崎市に希望すること」

吉田真子さん(三本木中3年)

「活気ある古川にするために」

村山瑞希さん(古川南中2年)

「住みたくて住んでいる訳じゃないのに」

藤田妃名さん(古川黎明中2年)

### ○小学生の部

#### 優秀賞

「私たちの暮らす地域の未来」

飯田峻伍さん(古川二小5年)

○大正デモクラシー賞

「鹿島台の未来」

大和田吏音さん(鹿島台中1年)

### 中学生の部最優秀賞

「魅力と活気あふれるまちへ」

岩出山中3年 中鉢電さん

私は大崎市岩出山に住んでいます。岩出山は、どの方向を見ても鮮やかな緑が目に入る、自然がとても豊かなところですが、しかしその反面、災害が発生しやすくもあります。

先日、宮城県を中心とした記録的な豪雨の影響で大崎市は大きな被害を受けました。河川が決壊し、家屋が浸水したり、道路が冠水したり、土砂崩れが起きたり、とさまざまな被害がありました。私の身の回りでも、中学校へ向かう道が土砂崩れによって通行止めになったり、クラスメイト何人かから自宅が浸水したと聞いたりもしました。また、実際に水に浸かってしまったり、動けなくなった車も見ました。どこか他人事のように思っていたことが身近に感じられた瞬間でした。大崎市なら大丈夫だろうと思っていたのに、テレビで流れているような光景を見ることになるなんて考えもありませんでした。

私は、二〇一五年の関東・東北豪雨で決壊した渋井川の映像が今も強く記憶に残っています。まるで自分の知らない場所のようでした。今回決壊した名蓋川は、七年間に三度も決壊しています。しかし、渋井川は嵩上げ工事をしていたので、被害が出ませんでした。

嵩上げをするのにはお金がかかります。その資金は、市民の税金などから出ています。税金は限りあるもので、

住民が増えないと多くなることはありません。そのために、大崎市をより活気あるまちにすることが必要だと思います。今、大崎市には約十三万人が住んでいます。さらに人を呼び込むためには、他にはない、大崎市だからこそものをアピールするべきだと思います。

私が大崎市で良かったと思えるところは、三つあります。

一つ目は、鴨子峡や有備館など大崎市には春は桜、夏は向日葵、秋の紅葉に、冬はスキーと四季折々の自然を楽しむことができる場所があることです。他にも、ラムサール条約湿地の化女沼や蕪栗沼など、自然の魅力がいっぱいです。

二つ目は、だて正夢、デリシャスとまと、伊達ざくらポークなど美味しいものがたくさんあることです。多くの人に美味しいと思ってもらいたいと農家さんがこだわりと愛情を持ってつくったものは、ぜひ全国の方に食べてもらいたいです。

三つ目は、人の温かさです。朝にはいつてらっしゃい、帰りにはおかえりと声をかけてくださる方が多く、安心して暮らすことができます。優しい方がたくさんいるので、ぜひ人の温かさにも触れてみてほしいです。

大崎市には魅力が書ききれないほどあります。また、伊達政宗の居城が築かれた歴史もある街で、生け垣や銅像なども残っています。今あるものをさらに活かすまちづくりができるといいなと思います。



## ● NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 未来づくり 一次世代育成 ●

これから私たちは何年も大崎市で暮らしていくでしょう。魅力をさらに磨き、災害の少ない安心して暮らせるまちになってほしいです。そのために、ライフラインや防災拠点などの防災面や医療や福祉サービスの充実などが必要だと思います。よりよい大崎市にするためにはどんなことが大切か、周りの人と話し合いたいです。

### 大正デモクラシー賞

#### 「鹿島台の未来」

鹿島台中1年 大和田史音さん

私たちの住む大崎市鹿島台は、鳴瀬川と吉田川にはさまれた低い地形で過去三百年に渡る水害との闘いの歴史を持っています。

昭和六十一年八月五日の記録的な豪雨による大水害では、鳴瀬川と吉田川が決壊し、旧鹿島台町の三分の一の面積をのみこむ大災害となりました。住宅や穂が出たばかりの青々とした水田を泥水がおそいました。

この時、小学校六年生だったという伯母の話によると、伯母が所属していた鹿島台小学校ブラスバンドはマーチングの大会で初めて東北大会、全国大会へと進み「ウィンドアンサンブル賞」という、すばらしい成績を残すことができたそうです。水害で町全体が暗い雰囲気の中、明るい話題となりパレードも行われたという話を聞いたことがあります。

水害との闘いは、江戸時代から三百

年続いています。旧鹿島台村の村長を務めた鎌田三之助は明治四十年から三十八年間、大洪水となる品井沼干拓に取り組んだ人物として知られています。

私が小学校四年生のとき令和元年東日本台風がありました。その日、私は学芸会を終えて家に帰ったところから雨が降り始め、強い雨がこわくて家族全員リビングで就寝したのを覚えています。このときも河川が決壊し大変な災害となり被害のあった父の友人の家も一階天井まで浸水しました。片付けの手伝いに通った父から被害の大きさを聞かされました。

鹿島台互市は百十年以上前から続く伝統の市で、春と秋に開かれます。この時の水害の約一ヶ月後に開催された互市では「火の用心、交通安全、秋の互市コンサート」というイベントがありました。私が活動していた鹿島台小学校ブラスバンドで「ワークマン」を演奏しました。私も、音楽で、被害にあわれた方を元気にしたいという思いで演奏しました。

「水害に強いまちづくり」は、大昔から私たちが暮らす地域の願いです。どうしたら、水害に強いまちになるのか防災について考えていきたいと思えます。また、地域の人々とのつながりを大切にし、おだやかでいつも笑顔で暮らせる未来をつくりたいと思います。

※掲載にあたっては編集上の都合により一部修正を加えました。

## 小中学校巡回パネル展

吉野作造の業績やエピソードを分かりやすく紹介するパネル展「わたしたちの先輩吉野作造」を実施しています。2022年度は各校のご協力のもと、大崎市立の全小・中学校を巡回して開催しました。

### パネル展の感想

#### 大貫小学校

〇ぼくは吉野作造さんのことについて調べて、作造さんは、日本をよりよくするために「民本主義」を発表したり、一九一八年には、黎明会を作り、日本全国をたび回って民本主義の大切さを広めようががんばった、すごく努力をしていた人なんだと思いました。

#### 田尻小学校

〇吉野作造パネル展を見て学んだことは、民主主義の今の日本をつくった人だということです。中国やドイツ、ヨーロッパなどに留学し、その国の政治を学んで日本の政治にも生かそうとしているのがすごいと思いました。ヨーロッパで作造が心うたれた国民たちが声を上げ、政治を動かしているというのは今の日本と同じだと思ったからです。大学の教授になり、民主主義という考えを論文で発表したのもそのおかげで今の日本があるんだと思いました。大崎にこんなすごい人がいたということを実感しました。



鳴子中学校 (4月28日～5月27日)



大貫小学校 (2月3日～17日)

NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」

## 未来づくり 一次世代育成

12月9日

## 第4回 吉野作造記念弁論大会

(第9回 宮城県高等学校弁論大会)

主催…宮城県高等学校文化連盟

共催…宮城県教育委員会 NPO法人古川学人

主管…宮城県高等学校文化連盟弁論専門部

後援…大崎市教育委員会 河北新報社 大崎タイムス社

優秀賞・吉野作造特別賞「虹の彼方に」  
菅原あかりさん（築館高2年）最優秀賞「キーパーソンになるために」  
中村茉莉亜さん（築館高2年）

## 優良賞

「子どもたちの幸せを願って」

田辺心愛さん（聖和学園高2年）

## その他発表者

「もし私が助産師になったら」

―産後うつを防ぐために―

浅倉星奈さん（名取高2年）

「幸せの定義」

高橋 伶さん（古川学園高1年）

「本当の強さとは？」

佐々木颯太さん（名取高2年）

「自分らしさ」

小野寺陽奈さん（小牛田農林高1年）

「私の願い」

時田るなさん（小牛田農林高1年）

「私と部活動」

飯川義都さん（仙台大志高2年）

「多様な価値観を経験して」

草刈みず希さん（古川高2年）

## 〈講評〉

全体的に今年度の弁論は、自己の体験にとどまらず、日頃疑問に思っていることがよく反映されていたように感じられました。昨年度までに比べると、環境問題や地域の産業をテーマにした弁論が無くなり、代わって自分に内在した問題や自分の将来を見据えた問題、ジェンダーや戦争、国際化に伴う問題などテーマに新しい広がりが出ました。時代を反映した結果かと思えますので、その点で高校生が現代に生き生きとチャレンジ精神をもって羽ばたく可能性を感じる事ができました。論の立て方についても、抽象度の高いものから具体的・現実的なものまで多様でしたが、内容は良いけれども表現力が不足しているもったいない弁論も多くありました。弁論は会場との一体感を上手く作る事が大切です。話し方の工夫、表現方法をもう一步磨いていくことが今後の課題です。

個々の入賞弁論について審査委員会での講評をまとめますと、最優秀賞の「キーパーソンになるために」（中村茉莉亜さん・宮城県築館高等学校二年）は、定期券を無くした際に外国人男性と一緒に探してくれた経験や、地方にも多くの外国人労働者が働き、そして生活をしている実態を踏まえ、これまで地域社会が外国人をどう迎え入れ、またどう共生してきたのかを考え、多文化共生の必要性や、公務員を目指す自分の将来像として「キーパーソン」になる夢を論じました。幅広い視点からの弁論が高く評価されました。

優秀賞の「虹の彼方に」（菅原あかりさん・宮城県築館高等学校二年）は、ジェンダー問題、LGBT、LGBTQ+を幅広く論じたもので、自己の体験、性的マイノリティの集会、そして男女共同参画室勤務経験者の話からジェンダー問題について深く考え、誰にとっても生きやすい社会にす

ることの必要性を述べ、将来の仕事を通じて自分の夢の実現を描いたことが評価されました。

優良賞の「子どもたちの幸せを願って」（田辺心愛さん・聖和学園高等学校二年）は、児童労働の問題について、SDGs第四目標の「質の高い教育」の実現と関連させながら、貧困からの脱出につながる「奨学金」や「フェアトレード商品」の意義について主張しながら、子どもの幸せとは何かを考えた弁論でした。グローバルな視点からの弁論が評価されました。

吉野作造特別賞の「虹の彼方に」（菅原あかりさん・宮城県築館高等学校二年）は、ジェンダー問題やLGBTQ+問題と自己の問題を結びつけて、自分らしく生きるための具体的な方法まで論じました。吉野作造の「より良く生きる」という精神に合致した点が特別賞にふさわしいと評価されました。

全国大会に向けて、二名の皆さんは、さらに、原稿の推敲や練習を通して、弁論内容や論旨をより良いものにし、また弁論術を磨くなどして当日を迎えて下さい。また、惜しくも入賞に至らなかった皆さんは、今回の経験を活かし、さらに研鑽されるよう期待します。（氏家 仁・審査員長）





# NPO 法人古川学人「3つの作造くつくろ」 街づくり ー市民社会育成ー

## 第5回 おおさき社会貢献大賞

1月29日の吉野作造生誕記念イベントで、より良い社会を目指す若者の活動を顕彰する「第5回おおさき社会貢献大賞」表彰式、社会の課題を見つけ、みずからのアイデアで解決しようとする若者の活動を応援する事業「吉野作造フェロローシッパ」採用企画の発表が行われました。



### 「7月豪雨災害 ボランティア」

大崎市立鹿島台中学校

1～3年生（11名）

（講評）

昨年7月の記録的な大雨の影響により鹿島台地域に土砂が流れ込み、甚大な被害を受けたことにより、取り組んだ内容です。これまで暮らしていた住居に流れ込んだ土砂を「何とかしたい、助けてあげたい」という一心で、大崎市社会福祉協議会と連携をはかりながら懸命に取り組み、力を発揮されましたことを高く評価します。この活動は、私たちが暮らす地域をみんなで守ることの大切さを示すとともに、後世に伝えることにもなります。一刻を争い、緊急性が求められる中での勇気ある行動に敬意を表し、今後も困っている人や地域のために自発的に取り組むことを期待したいところです。

### 優秀賞

○大崎市立岩出山中学校の取り組み

①「政宗公まつり」

大崎市立岩出山中学校

1～3年生（191名）・教職員

②「大崎市社会福祉協議会

岩出山支所との連携事業

「あつたかことばのギフトカード」

大崎市立岩出山中学校

1～3年生（216名）・教職員

③「岩中ハンドシエイクプロジェクト

岩中SDGs つなぎ届ける

「キャンマーへの想い」

大崎市立岩出山中学校

1～3年生（191名）・教職員

○大崎市立鳴子中学校の取り組み

①「高齢者への見守り活動」

大崎市立鳴子中学校

②「パキスタン洪水被害への募金活動」

環境・福祉委員会（6名）

大崎市立鳴子中学校

生徒会執行部・環境・福祉委員会

※岩出山中学校・鳴子中学校については、校内の複数の組織で下記の社会貢献活動を行い、それぞれの活動が優れた取り組みであるため、取り組み全体に対して1つの賞を授与します。

③「岩出山小学校児童に対する読み聞かせ」

宮城県岩出山高等学校3年生（14名）

奨励賞

「誰にでも優しく、暮らしやすい大崎を願って」手作りシトラシリボン無償配布

古川学園高等学校家庭部1～3年生（34名）

「絵手紙でつながる心のキャッチボール」

大崎市立岩出山小学校3～6年生（250名）

## 第4回

## 吉野作造フェロローシッパ

2022年度は2団体の企画が採用されました。

応募資格A（小・中・高校生・特別支援学校生・高専生）採用企画

・「古川西小中学区」での持続可能な後輩に継承していく地域貢献活動の充実」

大崎市立古川西中学校2学年

および生徒会執行部

…奨励金5万円

応募資格B（大学生、19～29歳）

採用企画

・「Robomatchin

おおさき」Robomatchinおおさきプロジェクト

…奨励金10万円



# 学芸部トピックス



吉野作造生誕145年記念給食  
(古川第一小学校、2月13日)



古川第一小学校・古川中学校の2校が  
吉野作造教育実践研究指定校に。(4月5日)



教育委員会に台帳提出 (3月15日)  
寄贈・購入等103点の新規資料を登録



学芸体験講座「市民で作る企画展」  
(10月～12月)

た。ナルキーホルダーが贈呈されまし  
児童には、認定証と記念のオリジ  
戦してくれました。全問正解した  
企画。本年度は58名の皆さんが挑  
ながらプリントに取り組んでもらう  
に、吉野作造記念館で展示を見な  
大崎市の小学5～6年生を対象

## 吉野作造ジュニア検定



参加者

- 初級…5名 (合格4名)
- 中級…4名 (合格3名)
- 上級…3名 (合格1名)

2月12日・14日

## 第6回 吉野作造検定

## 2月13日 吉野作造生誕145年 記念給食

大崎市教育委員会の主催によ  
り、大崎市の小・中学校で給食を  
通して吉野作造を知ってもらう特  
別企画が行われました。メニューは  
吉野の好物とされるおでんとアイス  
クリーム。当館では教材として映  
像とリーフレットを作成するなど、  
本企画に全面協力しました。

### 記念給食を食べた生徒の感想

○吉野作造さんの好物と動画内で紹  
介されていた、アイスクリームとお  
でんが給食に出ていて、まさに記念  
給食にふさわしい給食だと思いまし  
た。おでんは私の好物でもあるの  
で、給食を通して、吉野さんとの共  
通点も見つけられて心がポカポカし  
た気持ちになりました。現在の民主  
主義の基本となっている考えを説い  
たことによって、今の生活があるの  
だと、勉強にもなりました。給食す  
ごくおいしかったです！

(古川中学校)

○今の日本の民主主義は吉野作造が  
深く関係していることが分かる動画  
でした。また、アイスクリームとお  
でんが好物だったと聞いて、今の人  
も昔の人も「美味しい」と感じるも  
のは同じなんだと思いました。

(古川中学校)



# 学芸部トピックス

10月～12月  
学芸体験講座

## 市民で作る企画展



大崎市に残る貴重な文書資料の読解を通して、地域の歴史や文書資料への理解を深めてもらうことをねらいとした市民参加型の新企画です。

第1回となる今回は、大崎市荒田目地区の戦時中の回覧板（大崎市文化財「加藤家文書」）を題材としました。参加者の皆さんには、「市民学芸員」として読解から翻刻の凡例決め、解説執筆まで取り組んでもらい、その成果を後期企画展「我が町のおおさきの歴史・文化（第1回 戦争篇）」で展示しました。

9月3日・4日  
吉野ネットワーク交流事業

## 人材育成研修会／助成事業

前年に続きオンラインでの研修会・助成事業を実施し、全国7校の

大学・大学院から21名の学生が参加しました。

3日に河野康子法政大学名誉教授による基調講演「沖縄復帰50年を迎えて―施政権返還への道を中心に―」4日にはオリガ・ホメンコ慶應義塾大学訪問教授による全体講義「近現代史における日本・ウクライナ関係、満州でのウクライナ人ディアスポラについて」ほか、2日間で6つの分科会を行いました。

2022年度の助成対象者は5名で、すべて学術研究です。  
※前年度助成の成果報告は、「吉野作造研究」第19号（2023年4月発行）に掲載。

## 第8回 吉野作造研究賞

第8回吉野作造研究賞（2022年9月末日応募締切）は、厳正なる審査の結果、次の2作品に最優秀賞、新人賞をそれぞれ授与することになりました。

### 【最優秀賞】

柳愛林『トクヴィルと明治思想史―〈デモクラシー〉の発見と忘却』（白水社、2021年）

### 【新人賞】

澤井 勇海、East Asia before 'Diplomacy': The Transformation of China and Japan's Foreign Policy-making, 1858-1881（博士論文、2021年5月）

## 資料調査

- 5月 仙台第一高等学校 一関市博物館
- 7月 上田家（東京都）
- 7月 大崎市図書館
- 12月 鎌田記念ホール

## 研修など

- ・2022年度アーカイブズカレッジ（史料管理学研修会）受講（7月～9月）※オンライン
- ・参加職員・小嶋翔、佐藤弘幸
- ・国文学研究資料館主催の記録資料の収集、整理、保存、利用等に関する専門職員（アーキビスト）養成の研修会。
- ・沖縄県公文書館見学（10月25日）
- ・参加職員・小嶋翔、佐藤弘幸

## 研究発表・執筆活動

### 研究発表

- ・小嶋翔「戦時下・晩年の能楽研究―一九四三年東北帝大能楽公演に寄せて―」（東北大学文学部創立一〇〇周年・阿部次郎記念館新規資料公開記念シンポジウム「阿部次郎研究の新天地」、10月15日、東北大学片平さくらホール）
- ・小嶋翔「吉野作造と大正期文芸思想―唯物論社会主義との対決を通じた交錯―」（国際啄木学会二〇二二年度秋の大会・シンポジウム「大正デモクラシー期の文学と思想―啄木・晶子・作造」、10月16日、吉野作造記念館）
- ・小嶋翔「自治体文書館における民間

アーカイブズの保存と指定管理者制度」(二〇二二年度アーカイブズカレッジ修了論文報告会、3月26日、オンライン)

### 論文等

- ・佐藤弘幸「地域におけるアーカイブズ保存―吉野作造記念館の事例を中心に―」（『吉野作造研究』第19号、2023年4月）
- ・小嶋翔「社会教育者としての安部磯雄―明治期社会主義思想における都市公共論―」（『日本経済思想史研究』第22号、2022年3月）
- ・小嶋翔、分担執筆（第10講）「女性解放思想」、山口輝臣・福家崇洋編『思想史講義【大正篇】』筑摩書房、2022年8月
- ・小嶋翔「書評」岡安儀之著『公論』の創生「国民」の誕生―福地源一郎と明治ジャーナリズム―」（『歴史』138号、2022年4月）
- ・小嶋翔「シンポジウム「東北・民主主義の源流」に寄せて」（『社会文学』56号、2022年8月）
- ・仮称「おおさき文化研究会（小野寺智、高橋静江、辻山智信、二郷成子、橋本裕美、三浦明希―以上6名―市民学芸員／小嶋翔、佐藤弘幸―吉野作造記念館）」（史料紹介）戦時下大崎地域における農村の暮らし―大崎市所蔵「荒田目地区回覧板」（加藤家文書）」（『吉野作造研究』第19号、2023年4月）

# 新収蔵資料紹介

## 小松清氏旧蔵

### 明治文化研究会関係資料

明治文化研究会の機関誌だった『新田時代』『明治文化研究』の原稿やゲラ刷、図版写真など計296点。吉野作造のほか、尾佐竹猛、石井研堂、宮武外骨など、明治文化研究会の主要な会員の原稿も多数含まれます。

## 東京吉野家旧蔵資料

「自由民権時代の主権論」をはじめとする吉野作造原稿、有島武郎や徳富健次郎（蘆花）が吉野にあてた書簡など吉野の遺稿・遺品のほか、吉野作造長男俊造氏の遺稿、吉野博士記念会の関係資料など計84点。

## 黄興ほか書幅7点

有島武郎、杉浦重剛、岡田起作、中国の政治家黄興、唐紹儀、馮玉祥ら。

（以上2022年7月寄贈）

## 吉野作造遺影写真

青山学院で執り行われた吉野の葬儀で使用された写真。

（2022年5月寄贈）

## 寄贈資料一覧（2022年4月～2023年3月）

- ・山形県川西町教育委員会教育文化課『アルカディア人物館—川西が生んだパイオニア』（公開五周年記念誌）……………井上 ユリ氏
- ・『井上ひさし発掘エッセイセレクションⅡ この世の真実が見えてくる』他2点……………岩 波 書 店
- ・明治大学史資料センター（編）『鶴澤總明と明治大学』他1点……………明治大学史資料センター
- ・E・W・クラーク顕彰事業実行委員会（編）『エドワード・ウォレン・クラークと明治の静岡／日本／アメリカ』……………今野喜和人氏
- ・桜井滋郎『思い出すまま 三』他9点……………駒板 精思氏
- ・鹿島台歴史研究会（文）、只野文子（絵）『鎌田三之助一品井沼干拓と村づくりの一生』……………鹿島台歴史研究会
- ・新井勝紘『関東大震災 描かれた朝鮮人虐殺を読み解く』……………新井 勝紘氏
- ・宮城県小牛田農林高等学校（編）『小牛田農林百年史』他12点……………伊藤たか子氏
- ・武藤秀太郎『島田三郎—判決は国民の輿論に在り—』……………武藤秀太郎氏
- ・矢吹晋（監修）、鈴木博（訳）『周恩来 十九歳の東京日記』[改訂新版]……………株式会社デコ
- ・石垣政裕『霜の朝わたしは峠を越える—ブゼル先生伝Ⅱ—』……………石垣 政裕氏
- ・仙台市博物館（編）『仙台市博物館 館蔵名品図録』[改訂版]……………仙台市博物館
- ・宮城県教育会（編）『玉造郡誌』（復刻版）他12点……………小嶋 翔氏
- ・藤岡信勝ほか10名『中学社会 新しい歴史教科書』……………自 由 社
- ・金子勝『日本国憲法と鈴木安蔵—日本国憲法の間接的起草者の肖像—』……………金子 勝氏
- ・古川商工会議所（編）『古川商工会議所創立70周年記念誌—一人ひとりが実りのある地域へ—』……………古川商工会議所
- ・仁昌寺正一『平和憲法をつくった男 鈴木義男』……………仁昌寺正一氏
- ・關岡一成『吉野作造と海老名弾正—吉野が「海老名門下のクリスチャン」とされる理由』……………教 文 館
- ・宮田光雄『良き力に不思議に守られて—講演・説教・論考—』……………宮田 光雄氏
- ・『会報』157号 他1点……………東京大学学生キリスト教青年会
- ・『月刊 選挙』第75巻第5号……………都道府県選挙管理委員会連合会
- ・『初期社会主義研究』第30号……………後藤 彰信氏
- ・『社会文学』第56号……………日本社会文学会
- ・『写真通信』（合本）第107号～118号……………早坂 敏明氏
- ・『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第17号……………千葉 眞氏
- ・『りらく』第24巻第9号（通巻284号）……………プランニング・オフィス
- ・『第二高等学校同窓会 会員名簿』……………後藤 齊氏
- ・内ヶ崎作三郎色紙「桑麻影裏掩柴荆…」他4点……………松田 茂氏
- ・【写真】古川第一小学校 航空写真 他1点……………大益三樹子氏
- ・【写真】金谷不動尊再興祭（護摩焚き行）他2点……………佐藤 仁美氏
- ・馮玉祥書「到眼詩書皆雪亮」……………上田 雪子氏
- ・馮玉祥書「束身名教自風流」……………上田 雪子氏
- ・黄興書「連翻飛処影橫斜」（七言絶句）……………上田 雪子氏
- ・唐紹儀書「翻手作雲覆手雨 紛々輕薄何須数…」（七言絶句）……………上田 雪子氏
- ・有島武郎書「含徳之厚比于赤子」……………上田 雪子氏
- ・杉浦重剛書「鉄骨氷心長養真」……………上田 雪子氏
- ・岡田起作書「山高不碍白雲飛 竹密不妨流水過」……………上田 雪子氏
- ・小松清氏旧蔵明治文化研究会関係資料（296点）……………上田 雪子氏
- ・東京吉野家旧蔵資料（84点）……………上田 雪子氏
- ・【写真】吉野作造遺影写真……………上田 雪子氏
- ・【写真】「古川学人吉野作造之碑」除幕式関係写真・資料……………上田 雪子氏

謹んで御礼申し上げます。



## 学生のみなさんのご感想

### 泉館山高等学校

○今回のスライドや説明を聞いて、吉野作造さんはその当時の日本の政治に大きな革新を与えていたことがよく分かりました。また、現在の10代層はそれぞれの選挙の投票率にはらつきがあるのは高校や大学生活によって忙しい時期になっていたりと、最初は投票したもののどう反映されているのか分からなかったり考えていないことで選挙に行く意識が減ってしまったのではないかなと個人的に思いました。高齢者の中で選挙参加に積極的な方が多いのから今まで疑問に思っていました。年金などのことで自分たちの生活が政治に大きく関わるとも理由の一つであると知ることが出来て良かった。最後に、国民は主体的に考えることが重要だと分かりました。

○私は5、6歳の時に両親に連れられて投票所に行ったことがあります。家では両親が「この政党が〜」などよく政治の話をしていたので私も自然と政治について興味を持つようになりまして。なので今回の講演会の内容はとても興味深かったです。特に日本の若者は他国の若者に比べて、日本の未来に明るい印象を持っていないことや自分の力で政治を動かせるという意識のある人が少ないことが印象的でした。来年から有権者になるので友達を誘って選挙に行きたいと思えます。

○正直、たった1人が投票しても、投票率が高い50代や60代の世代に飲まれてしまい、投票することに意味がないのではないかと感じてしまう部分がありました。日本社会に課題を感じているのに、中々行動できない日本人の性のようなものがある若者にとって、投票に行くという事は、私たちの意見を国に示せる貴重な機会であると思います。「たった一票」ではなく、「日本を動かすことのできる貴重な一票」として扱い、民主主義としての

役割を全うしていきたいです。私は来年の県議会議員選挙では選挙権があるので、ぜひ投票に参加したいです。

### 古川学園高等学校

○現代の社会は、昔に比べたら選挙に参加しやすくなっているが、有権者でも投票に行く人が少ない。この先長い人生を生きていかなければならないので未来をより良くするために、自分の意見を持ち、投票に参加したいと思った。また、超高齢社会が進む中で福祉面でお金を使うのか、目先だけでなく、全体を見通していかなければいけない。各国では選挙権年齢にバラつきがある。若い国では16歳、高い国では25歳のところもある。

○現在の有権者は世代別で若い世代は教育、未来、クリーンな政治、20代等はコロナ対策や戦争にて高騰した材料費、シニア世代は物価対策や減税といった、それぞれ求めていることが別であり、それら全てを実現していくことは困難であると分かった。昔は政治に参加することは限られた人だけの特権であったが、現代には国民が政治に参加する権利を少しずつ獲得してきたという歴史があり、民主主義の発展の表れだと思った。

○私たちの政治参加が私たちの生活に直結する。そのための民主主義なので、自分たちの生活をよりよくするために、選挙に積極的に参加したいと思った。政治の正解は一つではない。周りの意見に左右されるのではなく、なにが国民、国のためになるのか、その本質を見極める力を身につけた。

### 仙台第三高等学校

○以前親に選挙に行くようそれとなく促したところ、「自分1人では何も変わらない」と言われモヤモヤしたのを思い出しまし

た。確かに、一人一人の力は弱いかもかもしれませんが、だからと言ってその小さな声を届ける権利を放棄し無関心のままだといることは違うと思います。この講義を受けて、私の考えが間違っていないかたんだと思ひ安心しました。改めて、有権者になったら必ず選挙に行こうと思ひました。日本の問題に対してデモをしたり寄付をしたりすることは難しいけれど、投票なら私にもできるからです。現状を嘆くだけでなく、どれだけ小さくても行動を起こしていこうと思ひます。

○私は探究の時間で「日本の若者の選挙投票率をあげるには」というテーマの元に活動しています。今日の講義をお聞きして、選挙投票率を上げることの難しさを改めて痛感しました。私たちはWebサイト作成

をしようと思ひているのですが、今後の活動において是非ともお話しをお聞きしたりアドバイスをお伺いしたいと思ひました。

○「若者の投票率が低い」という課題は様々な場面で取り上げられることが多いが、来々18歳になり選挙権を獲得する私達だからこそ、より危機感を感じる必要があると思ひます。将来、投票する必要性を見失った時は、講義中に述べられていた「投票しなかつたとしてもいざれ自分達に帰ってくる。」という言葉をお聞きし、常に正解に近い答えを出すために「選挙で投票する」という民主主義国家故に保持する私達国民の「権利」を無駄にしないようにしたい。

## 記念館からのお知らせ

### 2023(令和5)年度の主な行事予定(上半期)

- 4月8日 館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう」①
  - 4月23日 いぬねこ十一番地
  - 5月3日 憲法記念日講演会  
講師：巻美矢紀氏（上智大学法科大学院教授）
  - 5月5日 こどもの日ワークショップ
  - 5月5日～5月14日 やさしいアートの世界 姉齒公也・菅原暢子 二人展
  - 5月13日 館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう」②
  - 5月28日 学芸体験講座「資料読解～資料で見る吉野作造とその時代」①
  - 6月10日 館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう」③
  - 6月25日 学芸体験講座「資料読解～資料で見る吉野作造とその時代」②
  - 7月8日 館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう」④
  - 7月23日～9月24日 前期企画展「戦後史の中の吉野作造（仮）」
  - 9月9日 館長講座「吉野作造の文章を読んでみよう」⑤
- ※下半期の予定についてはウェブサイト等でお知らせします。

### 価格改定のお知らせ

2023年4月1日より「YOSHINO オリジナルコーヒー」の価格が改定されました。改定後は1個あたり20円の値上げ（1個180円⇒200円）となります。誠に申し訳ございませんが何卒ご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

- 令和5年3月13日以降、新型コロナウイルス拡大防止のための措置は下記の通りとなります。何卒ご理解・ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。
- 入館・展示見学に関して**
  - マスク着用は原則任意となりますが、着用を呼びかける場合があります。
  - 会場の貸出に関して**
  - 研修室・講座室には引き続き飛沫防止シートを設置しています。
  - 感染リスクが高いと判断される内容に関しては、利用をお断りする場合があります。

## ご寄附の御礼

### ● NPO 法人古川学人にご寄附いただいたみなさま (2022年4月1日～ 2023年3月31日)

苅部 直 様 手嶋 泰伸 様 井関 純 様 加藤シゲ子 様 高橋 静江 様  
 辻山 智信 様 後藤 昇 様 會田 征子 様 小口 晃平 様 高橋 利昭 様  
 東出 光世 様 黒田 英雄 様 宮崎 継雄 様 吉村 敏之 様 二郷 成子 様  
 長尾 資 様 諸岡 敏裕 様 諸岡 則子 様 平野 博 様 浅見 定雄 様  
 長谷川美子 様 大泉 忠行 様 秋山 真一 様 岩佐 弘一 様 伊藤千恵子 様  
 松田 茂 様 永澤 汪恭 様 横山 寛勝 様 佐々木公明 様 森田 純一 様  
 磯崎三喜年 様 加藤 晴彦 様 吉野作造を学ぶ会 様

氏名非公表ご希望 14件 (14個人)

合計 325,000円

### ● 「みやぎチャレンジプロジェクト」にご寄附いただいたみなさま(2022年12月1日～ 2023年2月28日)

団体

フルテック 株式会社 様 株式会社 リフレッシュかむろ 様 有限会社 スペーストライ 様  
 特定非営利活動法人 ハッピーート大崎 様 株式会社 ダスキンサーヴ東北 ダスキン古川 様

個人

清水唯一朗 様 武藤秀太郎 様 佐々木公明 様 高橋 利昭 様 大和田雅人 様  
 平野 兵悦 様 二郷 成子 様 佐藤 憲一 様 高橋 久之 様 氏家 仁 様  
 佐々木 威 様

氏名非公表ご希望 11件 (2団体・9個人)

合計 502,831円

### ●2022 (令和4) 年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいたみなさま

高橋 憲夫 様 大崎中央高等学校野球部の皆様 おおさきリンクアクション 様

謹んで御礼申し上げます。

### ● NPO 事業について

<https://www.yoshinosakuzou.info/npo-2> (寄附フォームへのリンクがあります)

### ●2022年度事業に関する詳細は『2022(令和4)年度 吉野作造記念館年報』をご覧ください。

## 吉野作造記念館 利用案内

|                    |   |             |
|--------------------|---|-------------|
| 開館時間               | 9:00～17:00 (入館は16:30まで)                 |             |
|                    | 入館料 (常設展)                               | 入館料 (企画展)   |
| 一般                 | 320円 (260円)                             | 500円 (400円) |
| 高校生                | 220円 (160円)                             | 300円 (200円) |
| 小・中学生              | 100円 (80円)                              | 200円 (100円) |
| ※ ( ) 内は20名以上の団体料金 |   |             |
| 休館日                | 月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始 (12月29日～1月3日)、臨時休館日 |             |

## 吉野作造記念館だより 第31号

2023年4月1日発行

編集・発行 吉野作造記念館

特定非営利活動法人古川学人

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3

Tel 0229-23-7100 Fax 0229-23-4979

Mail [yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp](mailto:yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp)

<https://www.yoshinosakuzou.info/>

## 令和4年度 YOSHINOサポーター

(株)村田工務所 (株)北都開発 (株)氏家建築設計事務所 (有)若見自動車整備工場 (株)佐藤酸素

(福) 賛育会 内藤印刷(有) (株)チバミン 古川信用組合 (株)美研 我妻建設(株)

古川ガス(株) 遊山社 (株)池月道の駅 (有)アクセス (一社) みやぎ大崎観光公社 (有)三塚タイヤ